

第1回 新・庁舎、図書館建設町民委員会 議事概要

- 開催日時 令和元年12月19日(木) 14:00~
- 場 所 能楽の里文化交流会館2階 大会議室
- 出席者 委員9名 行政4名 事務局4名
- 傍聴人 町民6名

【委員(役職名)】

- 川上 洋司(福井大学 名誉教授)
- 飯田 照義(池田町区長会 会長)
- 梅田 忠弘(町立図書館再整備企画委員会 副委員長)
- 佐飛 正美(池田町教育委員会 教育委員)
- 田中 優次(池田町青年団 団長)
- 辻本 悦男(池田町社会福祉協議会 会長)
- 内藤 博男(池田町老人クラブ連合会 会長)
- 本山 律子(JAたんなん女性部池田支部 支部長)
- 森田 五保利(いけだ農村観光協会 会長)

【行政(役職名)】

- 杉本 博文(町長)
- 溝口 淳(副町長)
- 内藤 徳博(教育長)
- 森川 弘一(総務財政課 課長)

- 委嘱状交付

- 開会

- 町長あいさつ

庁舎がかなり老朽化しているため池田の個性をいかした新しい庁舎を建てたい。重要な財産である森林資源を活用することで図書館、庁舎建設を先行的なモデル事業に生かせるのではないかと。一步一步確実に建設に取り組むため町民の代表であるみなさんからご意見をいただき、ご審議いただきたい。

- 座長挨拶

人口が減っても町民がいきいきとした生活を営まれるよう、持続的になりわいを確保することが日本レベルで最重要課題となっている。役場・図書館は町民にとっては生活のサービスを受ける非常に重要な公共施設のひとつ。次の世代の事を考えながら機能・

デザイン・使い方を考えないといけない。ざっくばらんに意見を出し、実りのある検討会にしたい。

【自己紹介】

□ 協議

(1) 資料説明

①これまでの役場庁舎の検討経過について【資料1】

これまでの議会や池田町行財政運営あり方やり方検討委員会で作られた報告書など、経過がわかるものを抜粋した資料を基に要点を絞って説明。

【質疑応答】

委員：場所について、武生高校池田分校の場所はどうか。

副町長：建物は県のものであり、それをどう利用するかは町が決められないため検討から外している。

委員：現庁舎の跡地はどう活用するのか。

課長：交流会館側にもし移転した場合、現役場の跡地にはサービス付き高齢者等コミュニティ長屋式住宅（仮称）の建設構想が内部では議論されている。

委員：予算は決まっているのか。

課長：他県の施設を参考に、建設単価 35 万円/㎡とし、想定延床面積 2,000 ㎡を乗じた結果、約 7 億円程度必要になると算定された（開発センターを含めず役場のみ）。

座長：（池田町行財政運営あり方やり方検討委員会の報告にある）建て替え自体に異論はないか？

委員：ない。

②新しい図書館建設に向けた検討経過について【資料2】

平成 30 年 3 月に池田町立図書館再整備企画委員会により作成された「池田町立図書館再整備基本構想」を基に説明。

【質疑応答】

委員：現図書館を利用して、不足の部分を（新図書館で）建てて、つなぐという案は出ていないのか。

教育長：委員会で、そういう案は出ている。

委員：郷土資料を充実させて現図書館に展示するのはどうか。

委員：現図書館（交流会館）を壊すという話は（委員会の中で）出ていないのか。

壊すなら役場もここに建てると良い。

教育長：建物を壊すという話は出ていない。

座長：どのような建物が望ましいかこれからご検討頂くことになる。

座長：（池田町立図書館再整備企画委員会の）構想のご提案にある図書館を何とかするという出発点で良いか？今のままで良いならそこから話す必要がある。

委員：大勢の方で協議して来ているので何とかすることで良い。

③池田町木望の森 100 年プロジェクト概要【資料 3】

「池田町 木望の森 100 年プロジェクト マスタープラン」を基に概要を説明。

【質疑応答】

委員：熱自給率について具体的な目標はあるのか。

副町長：目標は掲げていないが、試算をすると新庁舎・図書館の暖房をバイオマスエネルギーで供給した場合、町全体の熱自給率が約 10%上がる試算がある。

委員：小水力発電については考えているか。

副町長：地域で取り戻せるものなら取り戻すべきなので、考えていくべきもの。

委員：役場庁舎の電気を自然エネルギー100%でまかなうことは考えにくいですが計画性はあるのか。また、木を伐採・搬出するにあたり人材不足が懸念されるが、どのように検討しているのか。

委員：林業の成功事例や育成のモデルケースをできないか（3～5 年で独り立ちできるような）。

副町長：林業政策については、日本全国悩んでいる問題。確実に成功する例はないが、やり方によってはできる。

担い手については、いないからできないではなく、いないならつくる・育てるという考えでいる。

座長：今の市場主義的な資本経済の仕組みの中で、林業が生業として成立するのは難しい。

社会の価値観という方向付けを考えると潜在的な資源量は貴重である。林産資源を生かしていこうという市場を作っていかなければいけない。公共施設に地元産材を使い出来上がったものを展開していくのは町民への意識

を変えるだけでなく日本の中山間地域林産資源を持っている町のモデルになっていく可能性がある。

副町長：電気には使えないかもしれないが、熱で冷房はできる。岩手県の紫波町では実施している。現在研究している。

座長：電力をどれくらい節約できるかは建築の方でも相当進んできている。池田町の再生エネルギー源となれば、域内の循環にもなるし、経済のコストダウンにもなる。

委員：池田の木で集成材を作り3階建てが可能か？

委員：可能なようだ。

(2) 協議

①池田町役場の設置場所について 及び ②次回の検討内容について

座長：建設場所について次の検討会ではどのようなことを検討するのか。検討に加えてほしいことなどをご意見いただきたい。

設置場所の案としては、ほっとプラザにも近いこの場所が有力な案となっているが、その点についてどう考えるか。

委員：これから高齢化が進む中、ワンストップ化できる配置がよいのではないか。

委員：ワンストップ化、町民の交通の便から考えても池田町の中心地である交流会館付近で建設するのが良い。

委員：交流会館も役場から1km以内で近い。報告書にもあるように今の役場の場所も含めて検討してほしい。町民バスから200～300メートルも歩くというわけもいかないので。

委員：役場だけでなく、森林組合や商工会も近いほうがワンストップ化しやすい。

委員：委員会の位置づけはどの段階なのか。

座長：委員として町長に次の構想基本計画の前段くらいまでは提言できるのではないかと考える（場所・レイアウト等）。

副町長：図書館についてはこの場所と提言されている。役場については、場所の方向性を決めないと次にすすめない。

庁舎の場所は条例で決定する。住所を変えらるとなると議会で諮らなければいけない。そのために、この委員会の意見をお伺いしたい。

委員：町民の利便性や使い易さや交通の便を考えて、ここらあたりに建てたら良いのではと云えば良いのでは。

委員：ここが一番、ここが二番とか云えば良いのでは。

委員：候補地は2つでは。交流会館か現庁舎かでは。どちらかをこの委員会で決めれば良いのでは。

委員：交流会館でも建て直すか前か後ろに行くかなど検討する必要がある。

座長：ワンストップ化や利便性などからここらあたりに集約させればという意見

が多いが、その他にこういう点からここ以外が良いという意見をぜひ出してもらいたい。

委員：武生高校池田分校は（閉校して壊すのは）もったいないという町民の声がある。体育館も立派でもったいない。

委員：（池田分校を）家の守ができないというようなお年寄りが住める場所にしてはどうか。

委員：そういう声もある。サービス付き高齢者向け住宅のようにして。

委員：現庁舎を建て替えた場合のメリット・デメリット、交流会館そばに建てたときのメリット・デメリットを検討したなかで意見を集約してはどうか。

座長：その方針だ。案を検討するためにメリット・デメリットの検討をして頂きたいと思う。

委員：現庁舎は防災機能の価値を果たさない点から建て替えの必要は理解しているが、現状箇所を何とか活用できないかという話も出てくる。

委員：開発センターはどうなるのか。交流会館につけるのか無くすのか。

委員：後の利用をどうできるかという問題もある。

座長：池田分校を移転先として検討するかこの委員会で決めれば良い。声があるのはわかるが、池田分校に移転することはワンストップ化から考えて町民にとって良いのか、もし、移転したとしても恐らく校舎は役場としては使えないから全面的に改修が必要となる。

もったいないと言って次の世代につけ残すというのはどうだろうか。大英断も必要な時もある。構造的耐用年数が後20年あったとしても負担を次の世代に残していくのがいいのかはよく考えないといけない。ただ、交流会館が果たしてきた機能や役割はきっちり引き継ぐことが必要だ。シンボリックな在り方や建物の構造をどうするのか、木望の森と一緒にするのであれば、池田町の木材を中心とした田園風景のデザイン構造に合うと波及的に期待効果が出てくるなどの観点からメリット・デメリットを検討して欲しい。財政シミュレーションも交流会館を全て残して役場と図書館を建てる、一部改修する、全部取っ払って将来的に望ましいレイアウトに変えてしまうなどの案が出てくる。

委員：全部取っ払って直した方が良いと思う。

委員：交流会館の前の土地も利用すると将来的に有効かと思う。

委員：交流会館付近は大雨の時などハザードマップ上で問題はないのか。

副町長：福井豪雨の時池田町は影響がなかったが、必要があれば安全な高さを取る。

先の話だが足羽川ダムが完成したら、池田町の豪雨時の水量も下がり氾濫することも減る。

委員：高齢化に対応するのが一番。子どもたちの事を考え、図書館は学校とつながるようなものができたらと思っていたが、ほっとプラザまで来たなら本を読みたいという方たちを優先して考えると、ワンストップが理想的だと感じた。

また、具体的な庁舎のイメージや予算のことがわからない。

座長：客観的に押さえられる財政的なシミュレーション結果は大事だ。将来的な町民の負担もあるので、イニシャルコストだけでは判断できない。

町民のメリット・デメリット、アクセス、サービスや過ごし方などワンストップの向上の点から次回までに定性的・定量的な資料を用意してほしい。空間のレイアウトありきではなく、こういう形が良いとなればレイアウトも決まってくる。

副町長：次回までにすべてのパターンでコスト（イニシャル・運営）、メリット・デメリット（数字・文章）の整理を行う。

また、交流会館の前は一般民地であり、購入できることが確定できないため案として外し、橋の向こうまでの保有している町有地を活用したほうが良い。資料に交流会館付近、役場付近の町有地を示している。

座長：生活の拠点と住民が交流する、或いは、行政・福祉サービスを受ける拠点をつなげば将来、町のサービスを受ける中心地になる。

歩く環境を作ったり、自動運転のシャトルを走らせたりすればよい。

整理するが、図書館も役場も新しく生まれ変わることについてはご了解頂いたということと、場所については、交流会館はここから動かすことはない、役場も交流会館周辺にすることについてご異論ないか？

委員：現庁舎の所での建て替えも検討に加えて欲しい。

副町長：次の3つの案の資料を用意するので次回議論していただきたい。

- A 現庁舎位置で建て替え
- B 交流会館敷地内に詰めて建てる
- C 交流会館を壊して建てる

座長：財政的・町民サービスの面でメリット・デメリットを検討してもらいたい。

委員：開発センターの機能をどうするか検討して欲しい。

座長：町民サービス上、必要な機能は確保する必要があるなので、適正な規模を後に検討することになる。そのためにはどうすれば良いかということだ。

委員：観光目的の施設は町民の意見を聞いてもらっていない。新しい役場はまとめて交流会館あたりが良いと思っているが、前の土地は町有地と聞いたので、町の土地を利用するのも良いし、災害にも強い場所でないといけない。

6時以降の中学生の居場所がない。居場所も作ってほしい。

座長：小中学校との行き来は重要な検討事項となる。

図書館の場所は交流会館付近というのはほぼ決まっているが、庁舎は交流会館付近か現庁舎の場所か決まっていないため、次回 A,B,C 案それぞれのコストなどを見ながら検討していきたい。

委員：スケジュールについてもお願いしたい。

副町長：建設に概ね何年かかるかは出せるが、まずはプランの中味、コストについてしっかりお出ししたい。

座長：町民委員なので周りでもこういう議論があると吸い上げてもらえると良い。

次回日程

1月末～2月上旬

閉会